

「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【見沼区】

〈開催概要〉

日 時：令和3年11月13日（土） 10：00～11：30

会 場：見沼区役所 2階 大会議室

参加者：17名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事務局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

参加者との意見交換

●参加者

〈発言1〉

「将来を見据え、さいたま市のまちづくり」というテーマがありましたので、それについて御質問したいと思います。

さいたま市の最大の魅力は、身近に自然がまだ残されていることです。ですが、それもここ数年、どんどん少なくなってきました。まちづくりに当たって、今残されている貴重な自然をできるだけ残し、生かして、自然と共生することがこの時代に求められていると思います。

身近なところでは、七里駅北側に新しいまちがつくられようとしています。その緑が今は全て伐採されて、辛うじて3本の桜だけが残されて、それもいずれそこから全てなくされようとしています。あの桜のある土地だけさいたま市が買い取って、小さな緑地公園として新しいまちづくりに取り入れられないでしょうか。それを市長にお伺いしたいと思います。

そして、直近で計画されている公園がありますが、それを桜の土地と交換していただいて、桜を残し、新しいまちのシンボルとして残していただくことはできないでしょうか。これが2つ目の質問です。

さいたま市景観条例第6条に、市長が都市景観に必要と認めた場合は、国などに必要な協力を要請するものとする定められています。これは市長の大切な仕事だと思いたいますが、いかがでしょうか。

自然との共生が掛け声だけではなく、実際にまちづくりに適用していただきたいと切に望んでいます。また市長には、景観重要樹木を指定する権限もあります。そういうことを踏まえて七里駅の桜の問題について、市長の考えを是非お聞きしたいと思っています。

〈発言2〉

意見は3つあります。

まず1つ目は市役所についてですが、イメージはよくなっているとは思っています。ただ、市役所は市民の役に立つところ、市民の役に立つ人がいるところと言われていますが、もう少し全体の業務としてスピード感を持ってやっていただきたいというのが私の要望です。

といいますのは、今回の新型コロナウイルス、年齢別に接種券の配布をしました。そして予約、その後に具体的な接種という流れでしたが、さいたま市は、他市に比べて遅れていたと思っています。私は一日も早く接種を受けたいと思っておりましたので、接種券をもらってから、市ではなく、県の大規模接種センターですぐに予約を取りました。是非新しい市役所ができれば、今まで以上にスピード感を持って業務をこなしていただきたいというのが、1点です。

それから2つ目は、新庁舎の整備についてです。現庁舎との大きな違いは、駅から近いということだと思います。今いろいろな災害が多くなっています。大規模な災害が起きたときの緊急避難場所については、市の方で小・中学校や公園を指定していますので、帰宅困難者を受け入れるような設備、施設等を是非新庁舎で考えてもらいたいというのが2点目です。

それから、3点目、現庁舎地の活用についてですが、これはほかのワークショップ等でも出ていた意見かと思いますが、教育、研究機能という点について、是非市立大学、公立大学を設けてほしいというのを提案したいと思います。札幌、横浜などは、市立大学があります。さいたま市より人口が少ない120万人の広島市、93万人の北九州市にもあります。是非そういった大学の機能を設けていただければと思います。

<発言3>

さいたま新都心に新庁舎をつくるのは反対です。現在の資料を読む限りは反対です。逆に言うと、どうやったらさいたま新都心につくり、今まで御苦労なされた20年間というのを生かしていくのか。それはここに市民の声というのをきちんと反映して、市民が使う場にならないと意味がないと思います。市役所というのは、政令指定都市では市民が使う場所ではありません。区役所が市民が使う場所です。このことを踏まえて考えたときに、令和の時代は特にコロナ禍でワークスタイルも変わっていますので、新庁舎を駅のそばの便のいい場所につくる意味というのは、通勤混雑をつくるので全く意味がありません。

先ほど帰宅困難者というお話がありました。大事なことです。そういうのを一つ一つ取り入れていったときに、初めてさいたま新都心にそういう場所をつくるということになるのですが、現在はそういうのが、これからやるのでしょうか、足りないです。

それと、SDGs、持続可能という言葉など、たくさんいい言葉が資料の中に入っています。いい言葉だと思って、聞いて見ていましたが、さいたま市の公共事業は、SDGsがやられているのかというのを確認したほうがいいです。七里駅の橋上化が行われていますが、今仮跨線橋がつくられています。これは1億2,000万円かけてつくるのですが、新しい仮跨線橋やエレベーターをつくって、完成後2年ぐらいで廃棄します。1億2,000万円を捨てるということと、SDGsというものとどう関係ができていいのかと教えていただきたいです。

それと、もう一つは、七里の桜の木、これは20年前にさいたま市がプランを立てて組合、準備委員会が決めました。さいたま市が伐採を決めました。これもSDGs、持続可能という考え方から、なぜこんなにすばらしい木を切るのかということも回答していただきたいです。これはさいたま市が行ったことですので、お願いいたします。

<発言4>

まず、市役所のイメージにつきましては、市役所は市民の役に立つべきところであり、そして市民の生活を支えるところだということです。これを職員の方にもきちんと認識していただきたいです。

それから、市役所があって市民があるのではなく、市民があって市役所があるのです。これを逆に考えられたら困ります。これは議員も含めての話です。

それで、市庁舎の移転については、合併時の約束でもあるわけですから、これはきちんと実行されたほうがいいと思いますし、候補地で計画していただくのがいいかなと思っています。

それから、期待する市役所の機能、在り方についてですが、市民を大切にするサービス機能を持った建物であってほしいと思います。特に、高齢者や障害者に配慮した配置や構造を考えていただきたいです。中でも、たらい回しにしない、あちこちの窓口を回らせないで1か所で用を済ませるようにするワンストップサービスを考えてほしいです。必要があれば、職員の方が動くような、そういう機能を備えた市役所にしていきたいです。

それから、災害時の司令塔として機能するようにきちんと配慮していただきたいです。このところ地震が頻発したり、川越あたりでの河川の氾濫などもありましたから、こういうものにきちんと対応できるような庁舎と、組織づくりも考えていただきたいと思います。

<発言5>

私は20年ほど前に越してきました。田園都市にふさわしいというか、ローカルさを感じて越してきたのですが、今区画整理が進行しています。それで今、七里の桜の方にも関与しているのですが、区画整理で1回決まったことを変えないというようなことではなく、仮換地の指定は終わっているのですが、状況によっては市民要求にも応えて変えるということ判断してほしいと思います。

先ほども言われていましたが、地球温暖化の関係で、持続可能な状況をつくっていかねばならないということだと思います。したがって、コロナ禍が人間の活動によって生まれているのと同じように、温暖化も人間の活動によって反発してしっぺ返しを受けている状況がありますので、そういう状況の中で、人間に、自分に優しいということであれば、開発優先ではなくて、自然を大事にするような形でやっていただきたいと思います。

さいたま市は、公園がいっぱいあります。見沼たんぼもあります。そういう意味で、田園都市にふさわしいと思うのです。その中でさいたま市の市庁舎の在り方も、できるだけそれにふさわしいような形で、お金をかけないで、そして人が集まりやすいようにつくっていただきたいと思います。

そして、何よりもそういう点で、さいたま市見沼区の指定木になっている桜を駅に残してほしいということが私たちの要望です。先日、岩槻に行き署名運動をやりました。1時間当たり56筆も集まるというような状況は、それだけ市民の関心が高いということなのです。是非そういうことを聞いていただいて、市長さんに今いろいろ言われたような判断をしてほしい、桜を残してほしいと思います。

<発言6>

まず全体的なお話なのですが、さいたま市はまだまだ発信力が弱いなと思っています。それは日本に対してもそうだし、市民に対してもそうです。なかなか見えてこないことが多いかなと思っています。

新庁舎移転についてですが、SDGsは2030年までに達成をしていないといけない、終わりの時期だと思うので、そのときには劇的な変化をしているような新庁舎を建てないといけないと思います。そうすることによって、市民が誇りの持てるまちになるのだと思います。いろいろな市民の方がいるので、なかなか難しいと思いますが、是非そこを考えていただきたいなと思います。ですから当然、10年後はAIとかロボットとか自動運転とか、自動化とか、カーボンニュートラルとか、そういうのは達成していないといけないと思うのです。その未来をきちっと見せていただいた上で、具体的などころを進めていただければなと思います。

あとは、10年後ということで、子どもたちにも是非参加させてほしいと思います。

<発言7>

今回のテーマについては、私もいろいろテレビを見たり、市報などを読んだりしているのですが、大きい庁舎は必要ないと思います。各区にいわゆる区役所、支所がありますよね。実際私もあちこち見たり、聞いたりしているのですが、支所がほとんど機能していま

せん。この間も私、職員の方はもうお茶飲んでいたりするところを見かけました。暇なのです。

支所はどういう仕事をしているかという、ほとんど住民登録とか、そういうものしかやっていません。高齢者が手続をしたいと思っていくと、区役所の方へ行ってくださいと言われます。これではおかしいと思うのです。市役所はこんなに大きくなくてよいので、もう少し支所などに職員を配置させたほうがメリットがあると思います。デメリットではどうしようもないのです。

<発言8>

新庁舎をつくるのに200億円ぐらいのお金をかけるということなので、大切な税金を使うものですから、いろいろ理想があります。新庁舎でも現庁舎地の利活用についてもそうですが、私は民間の例えばデイサービスセンターなどの介護施設を入れるとか、幼稚園、保育所を入れるとか、地域包括支援センターや相談センターを入れるとか、民間のそういうものを入れて、収益が上がるようにするとよいと思います。福祉関係や医療関係の施設を入れることによって、そういうところで働いている人たちにも刺激を与えて活性化するというのもあると思います。泊まりがあると大変ですが、デイサービスセンターであれば日中だけですからいいと思います。

そうやって、少し民間も入れて、単に箱ものということではなく、福祉や医療関係の連携を含めた相談施設を入れて住民が行けるような施設がよいと思います。そして、保育所や幼稚園と高齢者の施設は親和性があり、非常に高齢者も喜びますから、交流する機会も含めて、新庁舎でも現庁舎地でもよいので、民間を入れてですね、少し収益を上げるような形にされたらよろしいかと思います。

<発言9>

まちづくりについて、市役所がどういう役割を果たすかというような観点からお話しさせていただきます。七里駅の北側の桜が3本残っているのですが、その桜を残したいということから、まちづくりというものを考えるようになりました。まちづくりといいますと、すぐに開発すると捉えられて、大型開発などが行われるということがよく知られているのですが、私たちの税金を使って市役所をつくるという大型開発が本当にいいのか、もっと大切にすることがあるのではないかと考えています。

見沼区というところは、自然や緑がとても多くて、見沼の自然は、東京都の方を潤すということで、大切にされてきたところです。ですから、伐採したり、新しい桜を植えるとかそういうのではなく、見沼区の自然をもっと活用し、クヌギとかコナラなどいろいろな木を大切に守っていただきたいと思います。

それで、見沼区の自然を守ることから、とにかく私は七里駅の桜を伐採しないで緑地公園にして、市に残していただきたいと思います。

<発言10>

まずは現在の市役所について、先ほどワクチンのお話がありましたが、これが時間かかったかなと思います。市役所に問い合わせてもまだ決まっていませんと言われ、国の方針が決まっても、市は決まっていない、といった具合でした。国ですらデジタル庁というのを立ち上げている時代ですので、もう少し早めにしていただければ、市役所内でのたらい回しがなくなるのかなと思います。1か所に行けばIoTで対応するといったことをしていただければと思います。

新庁舎の方ですが、コロナに関連した話になりますが、大規模接種会場ができるような大きな会議室があるとよいのではないのでしょうか。緊急事態用に酸素のラインが壁からコンセント1個で分岐できるようにつくっておき、東京でやった酸素ステーションみたいなものがすぐにできるとよいのかなと思います。

私は東京2020大会で、ボランティアで車の運転をしました。海外から来られる審判の方たちは車窓から、自然豊かだねとか、こんな未来都市から数分でこんな桜並木のきれいなところがあるんだねといったことがよく言われました。なので、できるだけ自然を残しておき、自然と融合した形がいいのかなと思います。「さいたまマップ」という埼玉県を盛り上げるボードゲームもつくっていますので、できるだけアピールできる場所があればなと思っています。

<発言11>

市長に是非お願いしたいことは、コミュニティバスとか無料バスを通していただきたいということです。というのは、区役所に来るのにも、以前は歩いて1時間かかっていたのですが、今は足腰が弱いもので、東大宮駅まで行き、そこから大和田行きのバスに乗って行きます。大和田行きのバスが1時間に1本か2本しかなくて、それで料金が往復で780円か800円かかるのです。区役所へ来る用事も多いもので、1か月に1,500円から多いときは2,000円弱かかります。年金生活なもので、これはかなり苦しいです。ですので、是非ともハレノテラス経由で無料バスか、コミュニティバスを通していただきたいです。ハレノテラスには、クリニックや美容院、スーパーなど生活に関連する施設があります。ここにバスが通っていると、重い水も買って帰れます。家のすぐそばにスーパーがあるのですが、そこに行くにも20分かかり、帰りの荷物を買って帰ると、2回か3回休まないと団地まで帰りつけないのです。今は男性のお年寄りの方もかなりため息をつきながら買い物をしている状態ですので、是非それをかなえていただきたいなと思います。10年先は生きているとは限りませんので、今困っていることを私は訴えたいと思って、今日参上しました。

ちなみに私は見沼の竜神の民話を語って、見沼はこんなにいいところだと一生懸命宣伝しているつもりです。

<発言12>

新庁舎整備についてなのですが、私は区役所には自転車がよく行きますが、パンフレットを見て初めて実は浦和にあると気づくぐらいに市役所には関わりがありません。市役所がなくても、区役所があれば全部用事が済んでしまうので、市役所というのは全般の仕事をやっていらっしゃるということを知りました。

さいたま新都心の新庁舎なのですが、駅前なのですね。コロナのワクチン接種で浦和まで行き、その近くに市役所があるとわかりましたが、遠いです。浦和駅から20分ぐらい歩かないと駄目ですね。今度の市役所は5分ぐらいで行けますよね。利便性があります。遠いと、特に用事がなければ誰も市役所には行かないですよ。区役所でほとんど用事が済んでしまうものですから、多くの市民に利用してもらうには、図書館が必要だと思います。図書館は大宮図書館もありますが、あれだと少し遠いので、利便性を考えると、大きな中央図書館に負けないような図書館をつくっていただけないかなというのが希望です。

◆市長

>>発言1

景観づくりや自然との共生ということをしっかりと配慮したまちづくりを進めていただきたいというお話をいただきました。こういったことも十分配慮してやっていきたいと思えます。

具体的な七里の問題については、今日は申し訳ございませんが、別の機会にさせていただきたいと思えます。

>>発言2

市役所は市民に役立つところだと、市民に役立つ職員であってほしいということでお話

をいただきました。特に新型コロナの際の御意見を頂戴しました。特に高齢者のワクチン接種については遅れていた部分があったと思います。これについてはおわびを申し上げたいと思います。また現在おかげさまで多くの皆さんの御協力で、予定よりは1か月以上早くワクチンを2回接種した人の割合が70%を超えました。いずれにしても第6波ということがありますので、3回目のワクチン接種について医療従事者からスタートしていきませんが、そういったこともしっかりやっていきたいと思っています。

庁舎については、駅から近いということで、帰宅困難者を受け入れられる機能をしっかり持ってほしいという御意見、それから現庁舎地については教育研究機能、市立大学をつくったらどうかという御提案をいただきました。災害のときにしっかり対応するということが大変重要だと思っていますので、そういった要素をしっかり取り込んでいきたいと思っています。

また、現庁舎の利活用についても市立大学という御意見、しっかりまた検討していきたいと思っています。

>> 発言 3

市役所、新庁舎のことについては、現時点では反対だと、基本的には市民が使う場所になってほしいということで御意見頂戴しました。先ほどの御説明でもお話ししましたが、市民に使っていただく、いわゆる申請手続の部分や市民生活の部分での対応というのは、基本的には市民の皆さんにできるだけ身近な区役所で対応しています。

それから、デジタル化のお話もいろいろ出ておりましたが、デジタル化についても、令和7年度までにほとんどの手続を電子化していこうと、方針を示しながら準備を進めているところです。しかしながらどうしてもデジタル化だけでは難しいこともあります。デジタルが苦手な方々もいらっしゃるし、私たちは基礎自治体ですので、できるだけ市民の皆さんに丁寧にもたししっかり対応できるようにしていきたいと思っています。

それから、SDGsについても、自然等々にもしっかり配慮した形でというような御指摘もいただきました。

>> 発言 4

市役所は市民に役に立つところというイメージだと、市民があつての市役所だという御意見でした。まさにそのとおりだと思います。庁舎の件については移転を実行してよいという御意見でした。また市役所の機能としては市民を大切に作る建物であつてほしい、特に高齢者、障害者への対応がしっかりできた施設にしてほしいといった御意見でした。

また、ワンストップサービスが図られ、使いやすいような形にしてほしいという御要望もいただきました。市民の皆さんからすると、どの課でどういった仕事が行われているのか、自分がここを相談したい、申請をしたいが、その場所がどこにあるのか、なかなかわかりづらいといった御指摘をいただいたところです。これは区役所の問題も併せて皆さんにとってわかりやすい対応をしていきたいと思っています。

ワンストップサービスということでいくと、部局を横断した支援が必要な市民の皆さんがたくさんいらっしゃるのので、福祉丸ごと相談センターということで今モデル的に実施していて、順次増やしているところです。市民の皆さんから御相談があつた場合には、部局を超えて連携をして、サポートをしていこうという体制を今つくりつつあります。それらもしっかり進めていきたいと思っています。

また、災害のときの司令塔にしっかりなるようにという御指摘もいただきました。

>> 発言 5

地球温暖化への対応という視点も含めて、人に優しく、また自然に優しい、そういった整備をしてほしい、また田園都市としてのさいたま市の魅力をしっかり残してほしいと御指摘をいただきました。

>>発言6

前提として、全国、そして市民に対する発信力が弱いのではないかと、もっと市民が誇りを持てるまちをつかってほしいという御意見を頂戴しました。その中でSDGsについては2030年がゴールの目標ですので、それはもう既に達成されているものでなければならぬし、それ以後も含めてシンボルになるような施設をつかってほしいという御指摘をいただきました。

また、10年後は子どもたちが中心に使っていくようなイメージもしっかり持って対応してほしいという御意見を頂戴しました。しっかり発信し、積極的に広報していきたいと思っています。

ちなみに、さいたま市はSDGsについて非常に力を入れているつもりです。今年発表された日本経済新聞社のSDGsの先進度では全国第1位ということになりました。1つの分野だけではなくて、いろいろな分野にまたがることですが、もちろんそれだからいいということではありません。総合振興計画については、政策ごとにSDGsの17のゴールと紐づけながら、2030年のゴールに向けてやっていくという方針で進めさせていただいています。

>>発言7

大きい庁舎はいらぬのではないかと、むしろ区役所や支所の機能をもう少し強化してほしいという御意見でした。私たちとしても、2つの考え方があると思います。さいたま市は非常に大きな、133万人の人口を抱える政令指定都市になっています。区役所や支所と連携をしながら、1つは、できるだけきめ細やかなサービスについては、区役所や支所でやっていくこと。ただもう1つ、全体的なスケールメリットを生かした部分が必要であったり、全体として取り組まなければならないことは、本庁舎でやっていくというのが基本的な考え方だと思っています。支所の機能については、今後検討していきたいと思っています。

>>発言8

大変大きな税金を使うプロジェクトになるので、できるだけ民間のいろいろなサービスや福祉系のサービスなどを積極的に導入して、収益を上げていくという視点も必要ではないかという御意見を頂戴しました。私たちも庁舎を移転するに当たっては、民間のいろいろな機能も併せ持つて進めていくことが望ましいだろうと思っています。これは税金をできるだけ縮減するというのもそうですし、その施設にあればいろいろなサービスを受けられるという視点も重要だろうと思っています。そういったことも考慮に入れながら検討していきたいと思っています。

>>発言9

自然を生かしたまちづくりを進めてほしい、見沼の自然を含めて大切なものがある、開発だけではなくて、そういった視点を持ったまちづくりを進めてほしいといった御意見をいただきました。自然と都市が共生しているのがさいたま市のよさでもあると思いますので、そういった点も十分配慮していきたいと思っています。

>>発言10

ワクチンの対応について御指摘もいただきました。十分でなかった点についておわびを申し上げたいと思います。またITの活用については先ほど申し上げたように、デジタル化も併せて進めさせていただいていますが、逆に今回のコロナ禍でデジタル化だけでは対応できない部分もあるということも改めて感じました。今回3回目の接種が始まりますので、今回は特に区役所や図書館の一部、公民館の一部でも高齢者の方々の予約に対応でき

るように準備を進めているところです。

それから、大規模災害が起こった際に、それを支える機能をしっかり持ってほしいということで、具体的には酸素の供給であるとか、大規模接種会場になるようなスペースの確保といったお話もいただきました。そういったことなども踏まえて検討を進めていきたいと思えます。

>> 発言 1 1

交通網の関心の御意見を頂戴しました。交通の不便な地域が出てきているというのも私たちが認識しているところです。コミュニティバスのルートについてはいろいろ検討を進めさせていただいています。あともう一つは高齢化社会になってきますので、できるだけ移動手段を確保したいということで、AIを使ったデマンド型の交通サービスの実証実験を今、岩槻でやらせていただいています。こういったことがそれぞれの地域でできるような方向性で検討を進めているところです。できるだけ早くしてほしい、こういう御意見でしたので、検討させていただきたいと思えます。

>> 発言 1 2

図書館という機能も必要だという御意見も頂戴しています。さいたま市は図書館の数でいうと、政令指定都市の中では実は一番多い状況です。地域の大きな拠点となる図書館と小ぶりの図書館と連動しながらやっているという状況ですが、図書館は市民の皆さんが一番活用してくれる施設でもあります。それだけニーズが高いということでもあろうと思えます。そういった御意見なども参考にさせていただきたいと思えます。

●参加者

< 発言 1 3 >

まず、さいたまの新庁舎建設についてですが、これは45年たっておりまして、目標使用年数は一応60年間ということで建て替え、維持費の経費節減のため、10年後の令和13年度の移転を目指すということで、建築分野の科学的な分析によりまして、必要なものは必要であると、これは私も認めています。

それから、将来を見据えたさいたま市のまちづくりですが、今イギリスのグラスゴーでCOP26が開催されていますが、ここでも地球温暖化の問題が非常に重要視されています。今後ガソリン車については、2040年までに新車の製造・販売をやめようということで、イギリスを中心として24か国が賛成をしています。これに日本、アメリカ、中国、ドイツが加わることはしませんでした。このような状況では、地球の温暖化防止を考えると、若い人を含めまして、大変困ってしまいます。日本国内でも、地球温暖化によると思われる異常災害が毎年全国で発生しています。私たちはこの現実をしっかりと見つめる必要があります。まして、今後30年以内に首都圏直下地震が70%の確率で発生すると専門家が指摘をしています。

さいたま市でもこのような自然災害に対応できるような病院施設、看護師、避難施設、道具を日常から準備しておくということは、これからますます必要ではないでしょうか。

最後に、地球温暖化防止のためにも七里駅の桜を何とか3本残して、ここを市が買い取って、公園化していただきたいです。ですから、これは桜3本だけだとしても決して無意味なことではありません。そういうことを是非市長には考えていただきたいと思っています。

< 発言 1 4 >

私も市のまちづくりとしては、環境問題のことを本当に心配しています。市のイメージアップとしても、今も環境問題に取り組んでくださっているのは、すごく誇らしいと思うのですが、もっと市民の意識ががらっと変わるぐらいの発信地として、新庁舎や現庁舎

の跡地利用を考えてもらいたいと思います。例えば長野県の気候非常事態宣言というものがすごくいいと思っているので、それをさいたま市というすごく大きな都市で宣言して、日本を引っ張っていくような、形だけではなく抜本的に変えていただけるような取組をさいたま市にさせていただけたら、安心して住んでいけるなと思います。

なので、大きなお金を使って建物を建てるのであれば、長く使えるのはもちろんですし、再生可能エネルギーを活用した、維持費がかからないような取組を発信して、市民にもこの場所に来ればそういうことが学べるような場所になるとよいと思います。私自身も今勉強中で、SDGsやCOP26についてなどいろいろところで知る機会が増えていますが、こんなに自分は環境を汚していたのだと考えさせられました。例えばコンポストを回収までしてもらえようようなものであったり、ごみ袋をもっと環境にいいものにして、ごみ自体をどうしたら減らせるのかを勉強できるような場所であったりと、教育とごみ問題とエネルギーと一緒に学べるような場所をお願いしたいなと思います。

<発言15>

中学校に通っているのですが、市役所は利用したことがなくて、どのようなものかよくわからないというのが本音なのですが、10年後となると、私も25~26歳になり働くようになると思います。そうしたときに新都心に移転するということで、交通の中心でもある場所ですので、民間の例えばコンビニエンスストアだとか、そういうものを入れたりすると利用者が増えていいと思います。また、地元の野菜とかを売ったりすると地産地消にもつながって、よりよいと思います。

また、現庁舎の活用としては、図書館を建ててもらいたいと思います。理由としては、自習室などが少し遠い場所にあるので、近くにあると利用しやすいと思うからです。

<発言16>

現庁舎地の利活用について考えたのですが、私は生まれてからずっとさいたま市に住んでいて、大学でまちづくりやSDGsについて学んでいます。他の地方に比べたら、さいたま市って何があるのと言われたときに、あまり答えることができません。金沢には21世紀美術館があったり、所沢にはところざわサクラタウンがあったりするのですが、さいたま市にはそういうところがないと思います。ですので、現庁舎地の利活用として、浦和に住んでいる人だけではなく、市役所から遠いところに住んでいる人も遠くからでも来たいと思えるような、お年寄りだけでなく、中学生や高校生など若い人たちも遊びに行きたいと思えるような施設をつくるべきなのかなと思いました。

<発言17>

SDGsについて意見があります。今学校でもSDGsについて学んでいるのですが、ほかの方も言っていたように、学校だけでなく、別の施設でもSDGsについて学べる場所が欲しいなと思います。

また、どんなときでも市民の意見を聞き、それにできるだけ早く応えることが大事だと思っています。

<発言18>

ここに集まった、私を除いてもたった16名の方々が、まだ言い足りないことがたくさんあります。伝えたいことがたくさんあります。これから基本計画を2年ぐらいかけてつくると聞いていますが、その中でその声をどうやって反映して、本当にさいたま新都心につくることがいいのか、いいのかというよりも、それをつくるような形にできるのでしょうか。今まで努力したものはわかりますが、コロナ禍もあって、時代はもう変わっているのです。その中で、市民が来ないところは誰も喜ばないし、シンボルにもなりません。いろいろな意見があって、それをまとめて、市民に方向性を示せないようなものならやめた

ほうがいいです。

公共事業は平成、昭和、全部失敗と言っていいぐらい、何もいいことがありませんでした。でも令和の時代になり、新しくデジタルも入る中で、市民の意見を拾うことができる時代になっています。デジタルを進める市長、お願いします。予算をつけて、どんどんいろいろな意見を拾って、最終的にシンボルとなるものを新都心につくれるぐらい、誇ってつくれるぐらいのことをやっていただきたいです。きちんと予算をつけて、駅前でアンケートを取ってもいい、SNSでいろいろ問いかけてもいいのでいろいろな声を取り入れてください。

<発言19>

先ほど言い足りなかった点を補足させてください。

現庁舎の利用については、ワークショップに参加させていただきました。それで具体的にはこういうものがいいということ、理由も含めてワークショップで文書でも出させていただきました。その中で特に、さいたま市ができて20年、埼玉県ができて150年というところで、合併の際の資料といった歴史的な行政資料など、いろいろなものもあるでしょうし、さいたま市の歴史もあるでしょうから、そういうものをちゃんと収集して、展示公開できる施設を是非設けてほしいです。

それからもう一つは、その施設で併せて情報公開の手続もやればいいのかというのが私の考えです。というのは、現庁舎地の立地を考えますと、浦和の駅から徒歩で10分から15分ぐらいかかります。そうすると、いろいろな催しとかをやるにしても、ある程度限定された方しか行かないと思います。また、そういう資料収集が大事だということ認識していただきたいのです。それから、あの地域の環境を考えますと、周りは国や県の県連施設があります。そういう地域だということ認識した上で、あそこに新しい建物をつくっていただければいいと思うのです。区役所があるということは、地域の方の便はそのまま維持できるわけですから、そういうことで考えていただきたいです。

<発言20>

私も浦和の現庁舎利活用について市民ワークショップに参加させていただいて、野外広場についてお話しさせていただきました。野外広場とかそういう場所は幾つあってもいいと思うのです。自然もありますから。あとは例えば市民や企業が安く使えるようなイベントのスペースを是非是非つくっていただきたいです。コロナ禍で感じたのは、外で活動することとか、外を歩くとか、そういうのが人間としてすごく大事だと私は思いましたので、お話しさせていただきました。

あともう一つは、10年後の計画を出していただく上で、今の現実では考えられないような内容を是非示してほしいと思っています。

◆市長

>>発言13

新庁舎の建設については、必要なものをつくることについては賛成だということでした。ただ、もう一方では気候変動や地震など大きな変化が起こる中で、災害や地球温暖化への対応が非常に重要なので、そういった視点から対応していただきたいという御意見を頂戴しました。

>>発言14

特に環境について、市民の意識が変わるような、周りの意識が変えられるような施設であってほしいというお話をいただきました。また、気候非常事態宣言についての御紹介もありました。発信力が弱くて申し訳ないのですが、さいたま市も実をいうと昨年にゼロカーボンシティの表明、今年は、気候非常事態宣言をさせていただいています。私たちも気

候変動については、非常に大きな問題意識を持っておりまして、ごみの問題もそうですし、エネルギーの問題や脱炭素化の問題についてもかなり積極的に取り組ませていただいているつもりです。いずれにしても、そういった環境について市民の皆さんが改めて感じたり、考えていただけるような機能を持った施設ということは、すごく重要なことだと思いますし、私たちもしっかりまた市民の皆さんに伝えていけるようにしていきたいと思っています。

>> 発言 15

あまり市役所には行ったことがないが、新庁舎が建つ頃には自分たちが使う世代になるという御意見を頂戴しました。その中でコンビニエンスストアがあったり、地元の野菜が買えたり、図書館があればというような御意見を頂戴しました。こういった機能についても検討をしていきたいと思っています。

地産地消の野菜については、今多くの区役所で何々マルシェという名前で販売していただいて、本当にたくさんの市民の皆さんに買いに来ていただいています。地産地消ということを大きく広げる場にもしていきたいと思っています。

>> 発言 16

現庁舎地には、全国に誇れるような、遠くからでも行きたいと思えるさいたま市の発信力のある施設ということで、金沢の21世紀美術館のお話なども出ました。私たちとしても現庁舎地については、もちろん地域住民の皆さんにとっても大切な場所だと思いますが、併せてさいたま市民全体にとっても大切な場所という位置づけの中で、対応していきたいと思っています。

>> 発言 17

SDGsについて学べる場所、そして市民の意見を聞き、声を反映する場所にしてほしいという御意見を頂戴しました。そういう視点でしっかり検討していきたいと思っています。

今中学校では、SDGsのことを勉強していただいているんですね。これからまさに皆さんが中心の世代になるわけですので、一緒にまた頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。

>> 発言 18

これからのプロセスの中でしっかり市民の意見を聞いて、それを反映できるような形で、市民参加も含めてしっかりやってほしいという強い要望がありました。現状としてはまだ具現化の一手前ぐらいの、機能であるとか、そういった部分が中心の基本構想という中での議論ですが、これから順次いろいろなステップになっていきますので、そのステップごとに市民の皆さんの声を聞きながら、これからさらに基本計画づくり等々になってくると、より具体的な皆さんからの御意見や提案がまた必要になってくると思いますので、そういった声もしっかりと聞いていきたいと思っています。

>> 発言 19

歴史的な資料を収集して、それを見られる場所、アクセスできる場所にしてほしいという御意見を頂戴しました。また情報開示手続などもしっかり行えるようにしてほしいという御意見を頂戴しました。

さいたま市もアーカイブズセンターという部署をつくって、旧市の時代からの資料も含めていろいろ集めさせていただいています。さいたま市の市史編さんについては、鉄道であるとか、少し通常の市史編さんとは違った、テーマごとの冊子も順次つくらせていただいています。これから市が順調に歴史を重ねていく上で、非常にそれは重要な視点だと思いますので、そういったことについても考えていきたいと思っています。

>>発言20

市民が安く使えたり、外でいろいろ市民が交流できるような屋外広場がもっと必要なのではないかというお話をいただきました。また10年後に今では考えられないような施設というものをもう少し考えてみてはどうかといった御意見を頂戴しました。

先ほどもお話がありましたが、SDGsが2030年にゴールを迎えるという中で、その先は何なのかというような視点を含めた施設ということで、大変難しいテーマですが、是非市民の皆さんに御提案をいただきながら、取り組んでいきたいと思っております。気候変動の問題でいいますと、最終的には2050年にカーボンニュートラルを実現するという目標を立てています。新しい総合振興計画は2050年を意識して、2030年までの総合振興計画ということで、現在つくらせていただいているところです。そういった長期的な視点も踏まえながら検討していきたいと思っております。

今日は、大変短い時間の中ではありましたが、皆さんから積極的に御意見を頂戴しまして、本当にありがとうございました。皆さんの御意見をまたしっかりと受け止めながら、私たちも進めていきたいと思っております。

また、先ほど申し上げましたとおり、ちょうど今パブリック・コメントもやっています。今日意見が言い足りなかったという方もたくさんいらっしゃると思います。そちらでもお受けすることができますので、是非そちらのパブリック・コメントにも御意見を頂戴できればと思っています。

最後になりますが、土曜日の皆さんにとって大変な貴重な時間帯にこのタウンミーティングに御参加をいただき、いろいろな御意見を頂戴したこと、心から感謝を申し上げます。

本日は本当にありがとうございました。

■補足説明

「新型コロナウイルスワクチンの3回目接種」について

3回目のワクチン接種について本市では、国が示す方針よりもさらに前倒し、全ての方の接種が可能となる時期を、2回目接種から「6か月経過後」に一律に短縮し、ワクチン接種を進めていきます。

(保健福祉局 保健所 新型コロナウイルスワクチン対策室)

「新型コロナウイルスワクチン接種予約の代行」について

高齢者の接種予約が集中する令和4年1月17日から2月28日までの期間、市内の商業施設に接種予約の代行窓口を設置し、高齢者の方々の予約に対応しておりました。3月以降も引き続き、区役所や図書館、公民館の一部の窓口において予約に対応していきます。

(保健福祉局 保健所 新型コロナウイルスワクチン対策室)

「コミュニティバス等の充実」について

本市では、地域生活に役立ち、利用され続ける公共交通にするため、検討はコミュニティバス等の導入や運行改善が必要と考える地域の方々が中心となって取り組んでいただくこととしており、市はその活動の技術的な支援を行っております。

コミュニティバスや乗合タクシーの新規導入にあたっては、「コミュニティバス等導入ガイドライン」に基づき、検討対象地域であること、コンセプトに合致するものであること等を確認する必要があります。

(都市局 都市計画部 交通政策課)

「七里駅北側特定土地区画整理事業における公園」について

既に七里駅北側につきましては、土地区画整理の事業計画で9,600㎡の公園面積が確保されています。

(都市局 まちづくり推進部 区画整理支援課)